ANNUAL REPORT 2022

みどりのトラストNo.106

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

2022年度（2022.4－2023.3）事業報告

皆さま方には、日頃より、大阪みどりのトラスト協会の事業にご理解・ご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。この度、2022年度事業報告「ANNUAL REPORT 2022」(みどりのトラスト106号)を発行しましたので、お手元にお届けいたします。

昨年度(2022年度)は、2年間続いたコロナ禍による停滞から抜け出し、和泉葛城山ブナ林、三草山ゼフィルスの森、地黄湿地などの各事業地において、観察会やハイキングなどの現地イベントを開催し、多くの方に当協会の事業地の自然を楽しんでいただくことができました。当協会のもう一つの基幹事業である「緑の募金」による収入は、コロナ禍前の2019年度の82%にとどまっていますが、2021年度と比べると110%の増加となっており、確実に回復傾向にあります。

このような中、当協会では3カ年の中期経営計画(2020～2022年度)の最終年度を迎え、3年間の取り組みのレビューを行うとともに、2023年度を初年度とする次期中期経営計画を策定しました。この3年間は、コロナ禍の影響を色濃く受け、しばしば計画どおりに事業を進めることができない事態が発生しましたが、負の影響ばかりではなく、WEB会議やリモートワークの定着によりコストや時間の効率化が図られたこと、セミナーやシンポジウムを対面とリモートのハイブリット形式で行うなど参加方法の選択肢が増えたこと、イベントや観察会を動画で収録し配信することが一般化したことなど、以前にはなかった新たな手法の導入が加速度的に進むこととなりました。

次期経営計画では、新たな基本方針として「大阪の「生物多様性保全」への貢献」と「持続的な事業展開に向けた取り組みの拡大」の２つを掲げ、前中期経営計画期間に整えた経営環境・業務管理体制を維持しつつ、地元・地域や他団体との連携を深めながら、「大阪府生物多様性地域戦略」(2022年3月策定)の実現に貢献する取り組みを着実に進めてまいります。

2023年度は、和泉葛城山ブナ林の国の天然記念物指定から100周年を迎えることから、シンポジウムやハイキング、植樹など、記念行事を企画しています。皆さま、ふるってご参加ください。

当協会は、引き続き、大阪府域に残された貴重な野生生物の生息する自然環境の保全、他団体と連携した府内各地の里山の生物多様性の保全を進めるほか、「緑の募金」による学校や市街地の緑化推進事業、みどりの未来を担う子どもたちの育成などの事業を推進してまいります。今後も変わらぬ皆さま方のご支援をお願いいたします。

2023年7月

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会
会長　石井　実

目次

巻頭コラム

「人・鹿・蝶」三草山ゼフィルスの森の切り札は花

大阪公立大学大学院 農学研究科 教授　大阪みどりのトラスト協会 理事　藤原 宣夫 2

自然環境保全事業 7

和泉葛城山ブナ林保全事業 …… 8
三草山ゼフィルスの森保全事業 …… 10
地黄湿地保全事業 …… 12
自然環境保全地域支援事業(社寺林) …… 14
能勢町との連携強化に向けた検討 …… 15
府内自然環境保全活動支援事業(大阪里山ネットワーク) …… 16
大阪さともり地域協議会の運営 ・ 御堂筋アメニティ事業 …… 17
CSR等支援事業 …… 18

緑の募金事業 19

緑の募金 収入・支出について …… 20
緑の募金運動推進事業 …… 21
緑化推進・森林の整備事業
・緑化推進事業等交付金 ・堺第7-3区「共生の森づくり」の推進 ・生駒山系花屏風支援事業 …… 22
・平和の緑づくり事業 …… 23
・緑の少年団活動支援事業 ・緑化推進運営協議会の運営 …… 24

森林環境教育・森林ESD 普及啓発 その他 25

森林環境教育・森林ESDの推進事業
・教員向け講習の企画・運営 ・パネル展示の開催 …… 26
・みどりづくりの輪活動支援事業 …… 26
・「学校に森林と木の香りを」整備事業 …… 28
令和5年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール …… 30
普及啓発事業 …… 31
会議開催状況 …… 32
資料 …… 33

ご支援・ご協力 36

「人・鹿・蝶」三草山ゼフィルスの森の切り札は 花

藤原 宣夫

大阪公立大学大学院 農学研究科 教授　大阪みどりのトラスト協会 理事

「猪・鹿・蝶」と言えば、それは日本の伝統的カードゲーム「花札」の役のひとつである。では「人・鹿・蝶」が何かと言えば、それは三草山の自然を作る役者たちなのだが、この三者どんな関係にあるのかお分かりだろうか。

「人・鹿・蝶」は三草山の自然を作る三役

三草山の蝶

三草山は大阪府能勢町と兵庫県猪名川町との境界部に位置し、その南麓はミドリシジミ類をはじめとする多様な蝶類の生息地として知られてきた。ミドリシジミ類は樹上性のシジミチョウの仲間で、ゼフィルスという愛称で呼ばれており、三草山には日本に生息する25種のゼフィルスの内10種が生息している。

三草山のゼフィルスの多くはクヌギ、コナラ、アベマキなどブナ科コナラ属の樹木を食樹としているが、イボタノキなどモクセイ科イボタノキ属の樹木を食樹とするウラゴマダラシジミ、アオダモなどモクセイ科トネリコ属を食べるウラキンシジミ、ヤマハンノキなどカバノキ科ハンノキ属を食べるミドリ

ナラガシワの葉に止まるヒロオビミドリシジミ（撮影：三好利也）．この蝶はナラガシワがなければ生きていけない

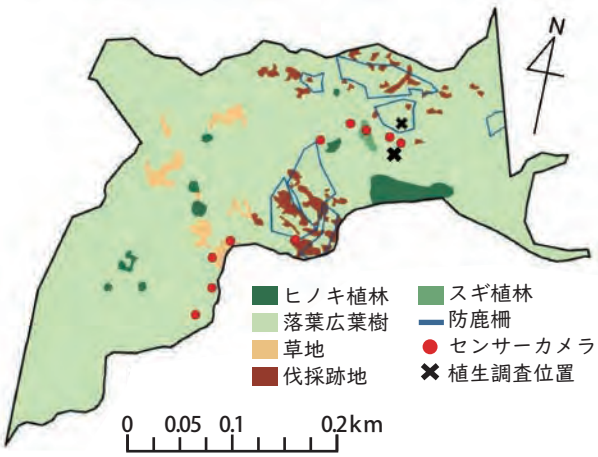
シジミが含まれている。また、ナラガシワ（ブナ科コナラ属）のみを食樹とするヒロオビミドリシジミが含まれており、三草山はこの蝶の分布の東限とされている。

これらの蝶の生息地を守るため後述するように保全地域が設定されているが、食樹が個性的ないくつかのゼフィルスは姿を見ることが難しくなってきている。

三草山の植生

能勢町と猪名川町は古くから良質な木炭を生産していた。その木炭は集散地の名をとって池田炭と呼ばれ、五百年の歴史を持つという。三草山南麓の森林も、木炭づくりのための里山林、いわゆる薪炭林として管理されてきており、クヌギ、コナラのほかナラガシワが多いことが特徴とされる。しかし、1900年代後半に至り、木炭の需要が低下するに伴い、薪炭林は管理放棄されるようになる。さらに鹿の食害を受けることにより林床にネザサが繁茂するようになり、蝶類の食草・食樹の減少・消失が懸念されるに至る。大阪府はこの森を守るため、1992年に約14 haを緑地環境保全地域に指定し、同時に大阪みどりのトラスト協会がこの森林に地上権を設定し、「ゼフィルスの森」と名付けて管理を始めた。

現在、ゼフィルスの森の植生は、コナラ、クヌギ、ナラガシワ等が優占種となって樹冠を形成する落葉広葉樹林となっている。イボタノキ属やトネリコ属の樹木は、落葉広葉樹林内の中低木として存在することが多いが、ゼフィルスの森の落葉広葉樹林には中低木がほとんど存在しておらず、林床はほぼネザサで覆われている状態である。そしてこのような状態をもたらしたのは鹿である。



三草山ゼフィルスの森の相観植生図（2017年調査）

三草山の鹿

鹿の個体数が全国的に増加し、保護から管理(駆除)へと政策が転換するのが1990年代である。鹿は農林業のみならず、自然環境へも採食により大きな影響を及ぼしている。鹿は口が届く範囲の植物を食べる。その高さはおよそ1.5メートルであり、高木はその高さ以下の枝葉を失い、その高さに満たない中低木は森から姿を消してしまう。ドングリから芽生えた高木の後継樹は、その高さに達する前に食べられてしまう。林床の植物は鹿が好む植物から姿を消し、不嗜好性とされる植物が残される。その不嗜好性植物でさえも鹿の生息密度が大きくなり餌が足りなくなれば口にされる。そして次第に地表面が露出するようになり、さらに鹿の踏みつけによる被害もあって、急傾斜地であれば表土が流出し、斜面の崩壊に至る場合もある。

三草山は、大阪府の中では箕面と並ぶ最も鹿の生息密度が高い地域のひとつと考えられる。高い鹿の生息密度下においてなおゼフィルスの森の林床は全面的にネザサで覆われている。ネザサは鹿が好んで食べる植物

ゼフィルスの森の植生と鹿(センサーカメラによる撮影).森の奥まで見通せるのは中低木が存在しないから.そして、この森を作るのは鹿.

ではあるが、再生能力が高いため、他の植物が姿を消しても、鹿の採食圧とのバランスにより草丈が高くなったり低くなったりして林床植生を形成しているのがゼフィルスの森の現状である。なお、ゼフィルスの森では中低木構成種が完全に消滅しているわけではなく、ネザサの陰になって極小さい形ではあるが生存している。移動しながら採餌する鹿ではネザサに隠れた植物まで根こそぎ食べることは無いようである。

さて、このような植生の変化は、食樹を失う種類の蝶の減少をもたらし、逆にササ類を食樹とする種類の蝶の増加をもたらすこととなる。ゼフィルスを愛する人にとっては寂しいことであるのは当然として、それに加え蝶類の種多様性の低下が問題とされる。

三草山の人

薪炭林として利用され、ゼフィルスを含む多様な蝶類が生息する森は、人の関与により形成され維持されてきたものである。木炭が売れなくなって里山が管理放棄されること

は、けっして珍しいことではない。管理放棄により植生遷移が進行し、放棄直後は一見荒れ果てた様相を呈し、人が入り難いヤブへと変化する例が多い。しかし、ゼフィルスの森の場合は、鹿の影響下にあったためヤブとはならず、ネザサの優占する草原状の林床植生が形成された。

保全地域指定により開始された人による管理には、多様な蝶類が生息可能な多様な植物の生育する状態を限られた予算で実現するため、ネザサを縞状に刈り取る方法がとられ「ゼブラ刈り」と呼ばれた。この方法によってもたらされるネザサの減少と林床植生の多様性は蝶類の多様性の維持に貢献するものであった。しかし、上述したような減少する食樹の保全、拡大にはつながらず、ナラガシワ等の更新をシカの影響から守りながら行うことが必須と考えられた。鹿生息数を直接的に調節する手段を持たない我々にとっては、物理的に鹿の侵入を遮断するしかない。簡単にいうと防鹿柵の設置である。

現在はボランティアの協力を得ながら防鹿柵を設置し、柵内でネザサの陰で生き延び

ボランティアによる防鹿柵の設置．ネザサを刈り払えば埋もれていた様々な植物が息を吹き返すが、柵がなければ鹿に食べられてしまう．

ていた多様な樹木の生育を助けるためのネザサの刈り払いの他、食樹の植栽、薪炭林としての管理方法である萌芽更新などを行っている。しかし、1年間に管理できる森の面積は1ヘクタールに満たない。もっともっと人の力が必要である。

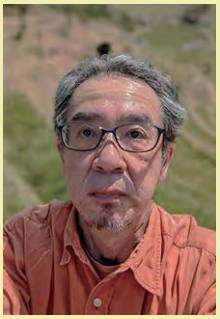
切り札は花

蝶は魅力的な生き物であり、この森を保全地域とする原動力となったが、さらに三草山に人を集めるには、あるいは人の関心を集めるにはどうすればいいのだろうか。昔からこの山を知る人の話を聞くと、三草山がまだ薪炭林として生きていた頃、管理放棄されても鹿の影響があまりなかった頃、今から30年ほど前には、三草山の植生は現在より多様性に富んでいてツツジなど美しい花が咲き誇っていたそうである。花もまた蝶に劣らず人にとって魅力的な存在であり、蝶のための植生の多様性は、多様な花の景観と両立し得るはずである。

上述したようにネザサの中にはまだツツ

ジやイボタノキが生きており、ネザサと鹿の圧力から人の力で守ってあげれば、美しい花の景観が戻ってくるはずである。防鹿柵を張り、増やしたい植物の周りのネザサを刈り取ってあげる地道な努力を継続することが必要である。現状では大したことはできないが、登山道の両脇のネザサを刈り取りスミレ類の生育を促すことを開始している。スミレ類はヒョウモンチョウ類の食草でもある。美しい蝶と花の三草山に興味がありませんか、一緒にネザサを刈ってみませんか。

三草山の花、数は少ないけれど人集めの切り札、（上段左から）ヤマツツジ、コバノミツバツツジ、シュンラン、（中段左から）ヤマウグイスカグラ、フデリンドウ、タチツボスミレ、（下段左から）ニョイスミレ、ニオイタチツボスミレ、エドヒガン



藤原 宣夫 ふじわら のぶお

大阪みどりのトラスト協会 理事 ／ 大阪公立大学大学院 農学研究科 教授

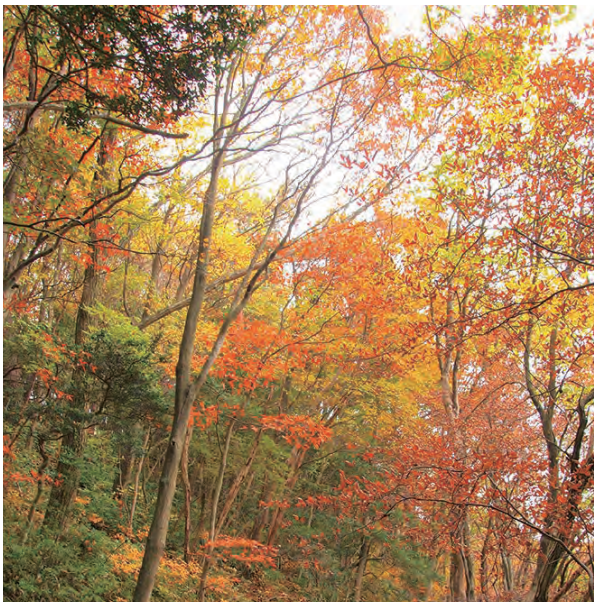
1959年秋田県生まれ。千葉大学園芸学部卒業。国営みちのく杜の湖畔公園工事事務所長、国土技術政策総合研究所緑化生態研究室長、愛知県公園監、岐阜県立国際園芸アカデミー教授などを経て現職。公務員時代は公園整備や、緑化・環境アセスメントなどの技術開発を行ってきたが、教育界に転身してからは外来植物の駆除や在来植物が作る文化的景観の保護などが関心事である。最近は鹿の問題が最大の悩み。

自 然 環 境 保 全 事 業

大阪府は面積約1,900平方キロメートル。全国で2番目に小さい都道府県ながら、人口は全国で3番目に多く、約880万人が暮らしています。府内の土地の多くは、住宅地や商工業用地として利用されていますが、山や農地、川から海にいたる多様な環境には、8,700種を超える多くの生物がすみ、それらはお互いにつながりあいながら生きています。

自然環境保全事業では、大阪府を代表する自然環境である「和泉葛城山ブナ林(岸和田市・貝塚市)」、「三草山ゼフィルスの森(能勢町)」、「地黄湿地(能勢町)」の保全活動を推進するとともに、府内の自然環境保全団体のネットワーク構築やCSR活動の支援などの事業を通して、大阪の自然環境・生物多様性の保全に取り組んでいます。

和泉葛城山ブナ林保全事業（岸和田市・貝塚市）



ブナ林は日本の冷温帯を代表する森林です。「和泉葛城山ブナ林」は、太平洋側の、標高800メートル前後の比較的高度の低い位置に分布しており、ブナ分布の南限圏に近い場所でこのようなブナ林が存続することに大きな価値があるとして、1923(大正12)年に国の天然記念物に指定され、2023(令和5)年3月に指定100周年を迎えました。

和泉葛城山ブナ林では、大径木の枯死が進み、稚樹が極端に少ないうえに近年の種子生産状況も思わしくないなど、長期的に見てブナ林としての存続が危ぶまれる状況にあります。

2022(令和4)年度は、「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画(2021年度～2030年度)」(和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会)に基づき、コアゾーン(国天然記念物区域)、バッファゾーンでの各種調査や森林保全活動を実施するとともに、倒木年輪調査、ナラ枯れへの対応、ブナ林の秩序ある利用を図っていくため看板整備を目的とした看板調査等を行いました。

また、天然記念物指定100周年記念関連イベントとして「和泉葛城山ブナ林展」(きしわだ自然資料館主催)、「和泉葛城山の自然とブナ林の紹介」(和泉葛城山ブナ愛樹クラブ主催)が開催されました。

【2022(令和4)年度の主な事業実績】

(1)計画検討・調査等

- 保護増殖検討委員会、ワーキンググループ会議の開催
- 天然下種更新モニタリング調査、花芽・結実調査、花がら・種子調査、生育環境調査、哺乳類モニタリング調査、ドローンを活用したブナの開花状況調査、ナラ枯れ被害状況調査の実施
- 2018(平成30)年の台風21号による倒木の年輪調査の実施(樹齢はブナ175～180年、イヌシデ160年と推定)
- 植栽ブナの生育状況調査、個体番号札の付け替え、立木位置の記録
- 「近畿地方における氷期以降のブナ林の発達過程」をテーマとした研究交流会の開催

倒木年輪調査標本採取

ワーキンググループによる現地調査

種子調査のためシードトラップを設置

(2)保全活動等(保全活動参加目標人数380人／実績533人)

- ナラ枯れへの対応として、被害を受けて枯死した木から媒介虫が拡散することを抑制するビニールシート巻き施工、枯死を予防する薬剤注入
- 和泉葛城山ブナ愛樹クラブによる国指定天然記念物100周年記念植樹会、ブナ若木の育成・森林保全等活動の支援

・ 看板、案内板、解説板等の更新・新設に向けた現況調査
・ 地元の方による巡回活動

ナラ枯れへの対応：枯死木のビニールシート巻き

和泉葛城山ブナ愛樹クラブによる記念植樹会

植栽ブナの生育状況調査

（３）PR活動等

・ ブナ林ハイキング（11月25日予定、雨天のため中止）
・「広報きしわだ」（7月1日発行）に天然記念物100周年や保全活動に関する記事を掲載
・「かいづか文化財だよりテンプス79号」（3月1日発行）に保護増殖検討委員会の活動に関する記事を掲載
・ 当協会のメールマガジン「みどりのトラストニュース（月1回配信）」において「和泉葛城山ブナ林活動地だより」を掲載

【2023（令和5）年度の主な事業】

「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画（2021年度～2030年度）」に基づき、各種調査及び保全活動、府民向けの普及啓発活動を行います。

① コアゾーン及びバッファゾーンにおける調査研究等
・ 昨年度に引き続き、天然下種更新モニタリング調査、花芽・結実調査、種子調査、生育環境調査、哺乳類モニタリング調査を実施します。

② バッファゾーン等における保全活動等
・ ブナ愛樹クラブ等によるブナ若木の育成・森林保全整備活動を支援します。
・ ナラ枯れへの対応として、枯死木への樹幹被覆を行います。
・ 植栽ブナの生育状況調査、個体番号札の付け替え、立木位置の記録を実施します。

③ ＰＲ活動等
・ 国天然記念物指定100周年記念にあたり、シンポジウムを開催するとともに、和泉葛城山ブナ林を紹介するリーフレットを作成します。
・ 前年度中止となったハイキングを開催します。
・ 看板、案内板、解説板等の現況を調査し、看板等の整備計画を検討します。
・ 企業等によるCSR活動、地元学校や博物館等地元他団体との連携に努めます。

④ 運営・調整
・ 和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会、同ワーキンググループ会議を開催し、専門家・関係者の意見を伺いながら、上記事業を効果的かつ円滑に進めます。
・ ブナ林をフィールドとした調査・研究成果の共有を目的に研究交流会を開催します。

三草山ゼフィルスの森保全事業（豊能郡能勢町）

大阪府の北端に位置する三草山(標高564m)の山麓部にあり、国内で生息しているゼフィルス(ミドリシジミ類の蝶の愛称)25種のうち10種が確認されています。なかでもナラガシワの葉を食するヒロオビミドリシジミにとっては府内唯一の生息地であり、国内の分布の東限です。大阪府緑地環境保全地域に指定され、ゼフィルスの生息に必要な広葉樹の育苗や植栽、環境整備、鹿対策などの保全活動を行っています。

また、三草山の麓にある神山(こやま)の棚田では、遊休農地再生事業「タガメの田づくり」の活動を行っています。遊休農地を多様性豊かな稲作水系へと復活させるべく、昔ながらのお米づくりをしながら棚田の維持管理を行っています。

ここでは、学識経験者、地元住民、ボランティア団体、大阪府、能勢町、当協会などが参画する三草山ゼフィルスの森保全検討会議が策定した保全活動計画に基づいて、関係者が主体的・計画的に保全活動を進めています。

2022(令和4)年度は、1月～3月にかけて萌芽更新施業(約0.3ha)を行い、伐った材を能勢町が実施する「木の駅プロジェクト」に出材しました。また3月には三草山ハイキングイベントにあわせてエノキ2本の植樹式を行いました。

【2022(令和4)年度の主な事業実績】

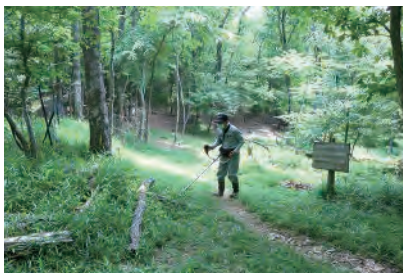
ゼフィルス調査にて6種類のゼフィルスを確認

(1)計画検討・調査等

- 三草山ゼフィルスの森保全検討会議
- 森林の更新に伴うゼフィルスへの影響調査(大阪公立大学、日本鱗翅学会等)の実施
- 森林環境の変化による植生や昆虫類への影響調査(大阪公立大学等)の実施

(2)保全活動等(保全活動参加目標人数340人／実績380人)

- 能勢みどりすとクラブ、能勢の里山を繋ぐ会によるボランティア保全活動への支援
- 萌芽更新施業の継続(伐採木は木の駅プロジェクトへ出材した他、薪やシイタケのほだ木に利用)
- 地元の方による巡回活動



保全活動:草刈り

神山側進入路の石畳づくり

萌芽更新施業地

(3)PR活動等

- 観察会等のイベント開催

ゼフィルス観察会(6/19)、タガメの田づくり田植え(5/22)・稲刈り(10/1、台風のため中止、ボランティア活動で実施)・冬支度(12/4)

- 案内看板更新:エネクスフリート株式会社の協力を得て実施(6月～1月)
- エネクスフリート株式会社による企業社会貢献活動「子どもたちに笑顔を」に協力(10/16、3/12)
- エノキ植樹式を実施(3/21)
- 近隣の学校・園による環境学習と保全活動への協力

ゼフィルス観察会

田植え

稲刈り

冬支度(しめ縄づくり、餅つき)

看板更新

「子どもたちに笑顔を」にてシイタケ植菌体験

【2023(令和5)年度の主な事業】

生物多様性豊かな環境の維持向上を目指し、今年度を最初の事業年度とする3ヵ年事業計画を策定します。計画では、2018年度に発生した山腹崩壊地の復旧工事(2023年度完了予定)後の植生管理方法や、萌芽更新作業について盛り込みます。また、持続可能な保全活動を行うため、学校教育との連携を図るとともに、企業CSR活動の誘致を行います。

① 計画検討・調査等

- 三草山ゼフィルスの森3ヵ年事業計画(2023-2025)を策定します。
- 三草山ゼフィルスの森保全検討会議を開催します。
- 専門家の協力を得て、各種調査を実施します。

  調査内容:森林の更新に伴うゼフィルスへの影響調査、森林環境の変化による植生や昆虫類への影響調査、タガメの田づくりの水生動物調査など

② 保全活動等

- ボランティア保全活動(防鹿柵の管理、坪刈り、ササ刈り、ナラガシワの果実の採取、苗木の育成、森の更新作業など)を支援します。
- 巡回活動を実施します。(地元へ委託)

③ PR活動等

- 観察会、保全活動体験会、タガメの田づくりイベント(田植え・稲刈り等)、ハイキングイベント等を開催します。
- 企業等によるCSR活動や、メディア取材など、三草山ゼフィルスの森を活用して行う活動のサポートなどを行います。
- 保全活動拡大に向けた周辺住民、地元学校や企業等への働きかけなど、地元との連携強化につとめます。

地黄湿地保全事業（豊能郡能勢町）

地黄湿地は、面積1haに満たない貧栄養の滲水（しんすい）湿地です。サギソウ、トキソウ、モリアオガエル、そして日本で一番小さなトンボであるハッチョウトンボ等、湿地特有の多様な動植物が生育・生息することから大阪府緑地環境保全地域に指定されています。

乾燥化・陸地化が進み湿地環境の衰退がみられていましたが、2014（平成26）年に学識経験者、地元住民、ボランティア団体、大阪府、能勢町、当協会等が連携して「地黄湿地再生保全検討会議」を設立し、推進体制を整えるとともに、陸地化した区域の侵入木伐採やススキ抜根、水環境の整備等の再生保全事業を行い、環境が改善しています。

2022（令和4）年度は、2021（令和3）年度に策定した「3ヵ年計画（2022年度～2024年度）」（地黄湿地再生保全検討会議）に基づき、湿地袖部の草原化、最下流部の浸食水路対策、周辺森林整備を行いました。

また、地元や保全活動を行っているボランティアを対象に、湿地の価値を知り保全のあり方について考える勉強会を行いました。

【2022（令和4）年度の主な事業実績】

（１）計画検討・調査等

- 地黄湿地再生保全検討会議の開催
- 各種調査の実施（調査内容：植生調査、希少植物の開花数調査、水生動物調査等）
  ※水生動物調査実施時に持ち込まれたと思われる国内外来種のメダカを初確認
- 湿地のモニタリング、管理へのフィードバックの実施

植生調査

水生動物調査

水生動物調査で確認したメダカ

（２）保全活動等（保全活動参加目標人数100人／実績218人）

- 地黄の森FANクラブによるボランティア保全活動への支援
  （湿地の環境改善、湿地内・沿岸林縁部の下草刈り、植物調査、湿地内の灌木・高茎草本刈り取り、ウシガエルなどの外来種捕獲等）
- 湿地最下流部のジャカゴ設置による水環境改善（委託）
- シカの食害実態把握のための、周辺森林での防鹿柵設置及び植生モニタリングの実施
- 地元の方による巡回活動

保全活動:湿地内の枯れた植物体の刈り払い、運び出し

保全活動:周辺森林整備

保全活動:防鹿柵設置

(3)PR活動等

- 観察会・保全活動体験会の開催
  トキソウ観察会(6/11)、サギソウ観察会(7/31)、秋の植物観察会(10/20)
- 観察会の模様を録画・編集してSNSで動画配信
- 地元高校による環境学習と保全活動への協力
- 地元及びボランティアが参加する地黄湿地に関する勉強会の開催

サギソウ観察会

秋の生きもの観察会

地黄湿地に関する勉強会(丸山湿原視察)

【2023(令和5)年度の主な事業】

地黄湿地保全事業準備資金を活用し、生物多様性の保全に向けた森林整備や木道の修復・新設などを行います。また、前年度に初めて確認された国内外来種のメダカについて、駆除などの対応を行います。

① 計画検討・調査等
- 地黄湿地再生保全検討会議を開催します。
- 湿地袖部の草原地化・湿地内掘削地部分と周辺森林整備部分の植生のモニタリング調査を実施します。
- 湿地内に生息する水生動物のモニタリング調査を実施します。
- サギソウなどの希少植物の生育状況モニタリング調査を実施します。

② 保全活動等
- 地黄の森FANクラブによるボランティア保全活動を支援します。
- 老朽化した木道の修復・新設を行います。
- 周辺森林整備を行います。
- ウシガエル及び国内外来種のメダカを駆除します。
- 巡回活動を実施します。(地元へ委託)

③ PR活動等
- 観察会、地元高校環境学習等を行います。
- 地元やボランティアを対象に地黄湿地に関する勉強会を開催します。
- 北摂地域の各湿地の保全活動団体と交流を図り、連携の可能性を検討します。

自然環境保全地域支援事業(社寺林)

鎮守の森と呼ばれる社寺林にある森林は、昔からほとんど人の手が入らず、極相林に近い天然林の状態で残されています。大阪府では5つの社寺林が自然環境保全地域に指定されています。当協会は土地所有者(社寺)と保全契約を結び、それらの自然環境を維持・管理するための保全活動に対し助成を続けています。

2022(令和4)年度はそれぞれの社寺林で次のような活動が行われました。

【妙見山(みょうけんさん)(能勢町、10ha)】

能勢町南部に位置し、ブナが生育しています。比較的低高度地帯(標高662m)に生育するため、アカガシなどの常緑広葉樹が混じった林相で、学術的にも貴重な樹林です。ブナの植樹や獣害防止柵の整備、下草刈りなどが行われました。

【本山(ほんざん)寺(高槻市、14ha)】

樹齢100年以上と思われる高木が多く、一部には、モミ、ツガ、カシ類などの優れた天然林が残っています。植物の種類も豊富です。山林・道路の修理、清掃、災害木の除去等が行われました。

【若山神社(島本町、11ha)】

社寺林は樹齢200年前後のコジイを優占種とする極相状態に近い林相で、都市近郊にこのようなシイ林がみられることは珍しく、シイ林の周囲をシラカシが取り巻くように生育しています。保全地域内の清掃と来訪者への啓発活動などが行われました。

【美具久留御魂(みぐくるみたま)神社(富田林市、2ha)】

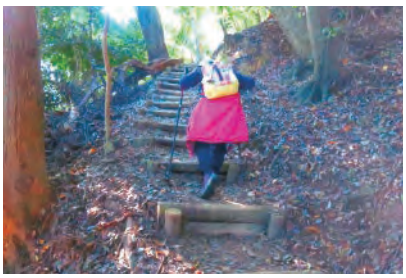
富田林丘陵の東辺部に位置し、林内は樹齢200年前後のコジイをはじめ、ナナメノキ、アラカシ、サカキがみられ、丘陵地の典型的なシイ林となっており、河内地方では最古の神社の一つとされています。しめ縄会による維持補修活動や作業路雑草駆除等が行われました。

【意賀美(おがみ)神社(岸和田市、1ha)】

岸和田市南部の神於山(こうのやま)の北西山麓に位置し、コジイを主とする広葉樹林で、ミミズバイ、ホルトノキ、タイミンタチバナ、ツルコウジといった府内でも珍しい植物が見られる場所です。宮山保存会70名による草刈り、清掃作業等が行われました。

妙見山:防鹿柵内の下草刈り

本山寺:保全地域内の清掃


若山神社:保全地域の巡視

美具久留御魂神社:作業路の整備

意賀美神社:保全地域内の清掃

能勢町との連携強化に向けた検討

能勢町(大阪府豊能郡)は、生物多様性が豊かな場所として知られており、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社が行った「生態系の豊かさと便益を評価する指標群」(2016年)の調査でも全国で1位になりました。

能勢町には、三草山ゼフィルスの森及び地黄湿地の2つの保全活動地域があるほか、多くの自然環境豊かな里地里山があります。この豊かな生物多様性の保全に向けて、地域住民や行政、活動団体との連携強化を推進しています。能勢町が推進する「能勢の里山活力創造戦略」(2018(平成30)年度策定)との連携のあり方についても検討を進めています。

2022(令和4)年度は、2つの事業を実施しました。

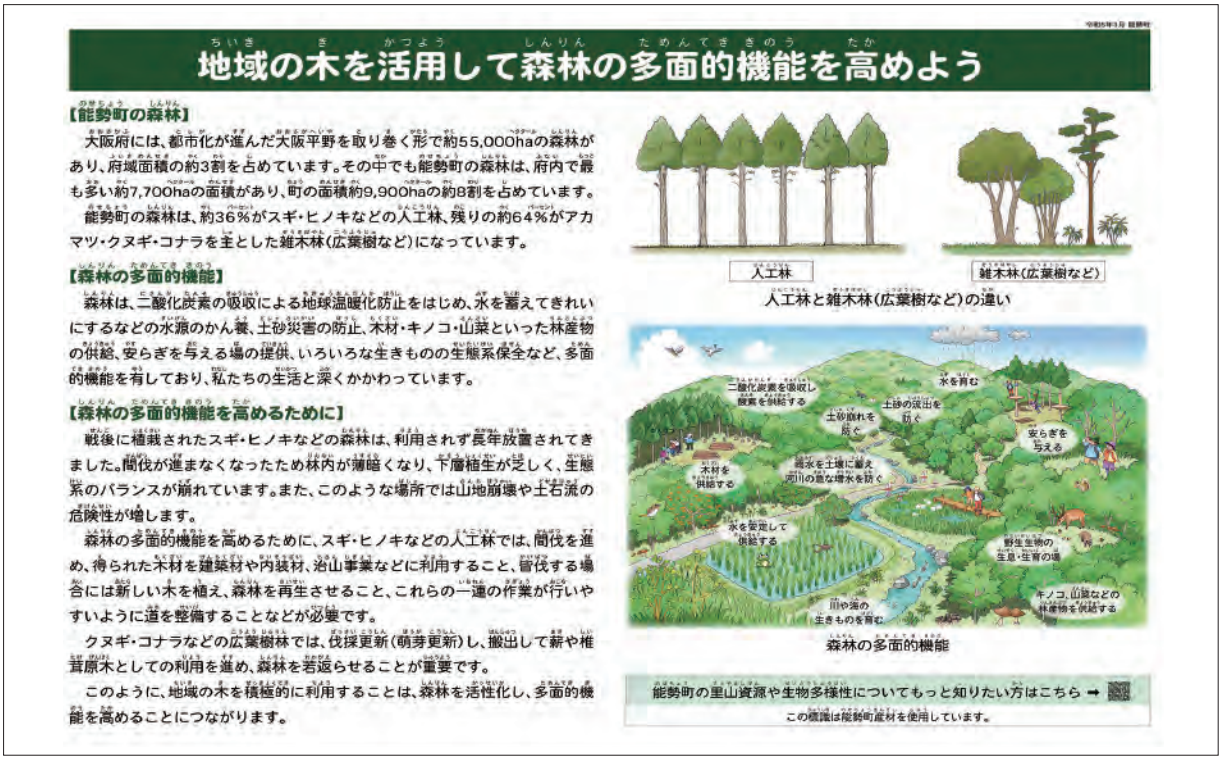
里山デイキャンプ

里山デイキャンプ

森林環境学習標識の設置:地黄湿地入口

【2022(令和4)年度の主な事業実績】

- 「里山デイキャンプ in NOSE」(8/10)への参画
  吹田市・豊中市・能勢町の小学生が能勢町内で森と生きものの つながりや大切さを学ぶイベント(主催:能勢の里山活力創造推進協議会)にて、「ゲームとクイズで楽しく学ぼう！里山の暮らしと生きものたち」を企画・実施
- 森林環境学習標識設置委託業務を受託(発注者:能勢町)し、下記4ヶ所に設置
  ①町有林(旧野外活動センター跡地)
  ②歌垣山公園内: 豊かな生態系をはぐくむ能勢町の里山
  ③銀寄母樹園内: 銀寄栗母樹園－くり山に見る里山の生物多様性－
  ④地黄湿地入口: 地黄湿地



地域の木を活用して森林の多面的機能を高めよう

【能勢町の森林】

大阪府には、都市化が進んだ大阪平野を取り巻く形で約55,000haの森林があり、府域面積の約3割を占めています。その中でも能勢町の森林は、府内で最も多い約7,700haの面積があり、町の面積約9,900haの約8割を占めています。

能勢町の森林は、約36%がスギ・ヒノキなどの人工林、残りの約64%がアカマツ・クヌギ・コナラを主とした雑木林(広葉樹など)になっています。

【森林の多面的機能】

森林は、二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止をはじめ、水を蓄えてきれいにするなどの水源のかん養、土砂災害の防止、木材・キノコ・山菜といった林産物の供給、安らぎを与える場の提供、いろいろな生きものの生態系保全など、多面的機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっています。

【森林の多面的機能を高めるために】

戦後に植栽されたスギ・ヒノキなどの森林は、利用されず長年放置されてきました。間伐が進まなくなったため林内が薄暗くなり、下層植生が乏しく、生態系のバランスが崩れています。また、このような場所では山地崩壊や土石流の危険性が増します。

森林の多面的機能を高めるために、スギ・ヒノキなどの人工林では、間伐を進め、得られた木材を建築材や内装材、治山事業などに利用すること、皆伐する場合には新しい木を植え、森林を再生させること、これらの一連の作業が行いやすいように道を整備することなどが必要です。

クヌギ・コナラなどの広葉樹林では、伐採更新(萌芽更新)し、搬出して薪や椎茸原木としての利用を進め、森林を若返らせることが重要です。

このように、地域の木を積極的に利用することは、森林を活性化し、多面的機能を高めることにつながります。

人工林　雑木林(広葉樹など)

人工林と雑木林(広葉樹など)の違い

二酸化炭素を吸収し酸素を供給する
水を育む
土砂崩れを防ぐ
土砂の流出を防ぐ
安らぎを与える
木材を供給する
雨水を土壌に蓄え河川の急な増水を防ぐ
水を安定して供給する
野生生物の生息・生育の場
キノコ、山菜などの林産物を供給する
川や海の生きものを育む

森林の多面的機能

能勢町の里山資源や生物多様性についてもっと知りたい方はこちら →

この標識は能勢町産材を使用しています。

環境学習標識①町有林:地域の木を活用して森林の多面的機能を高めよう

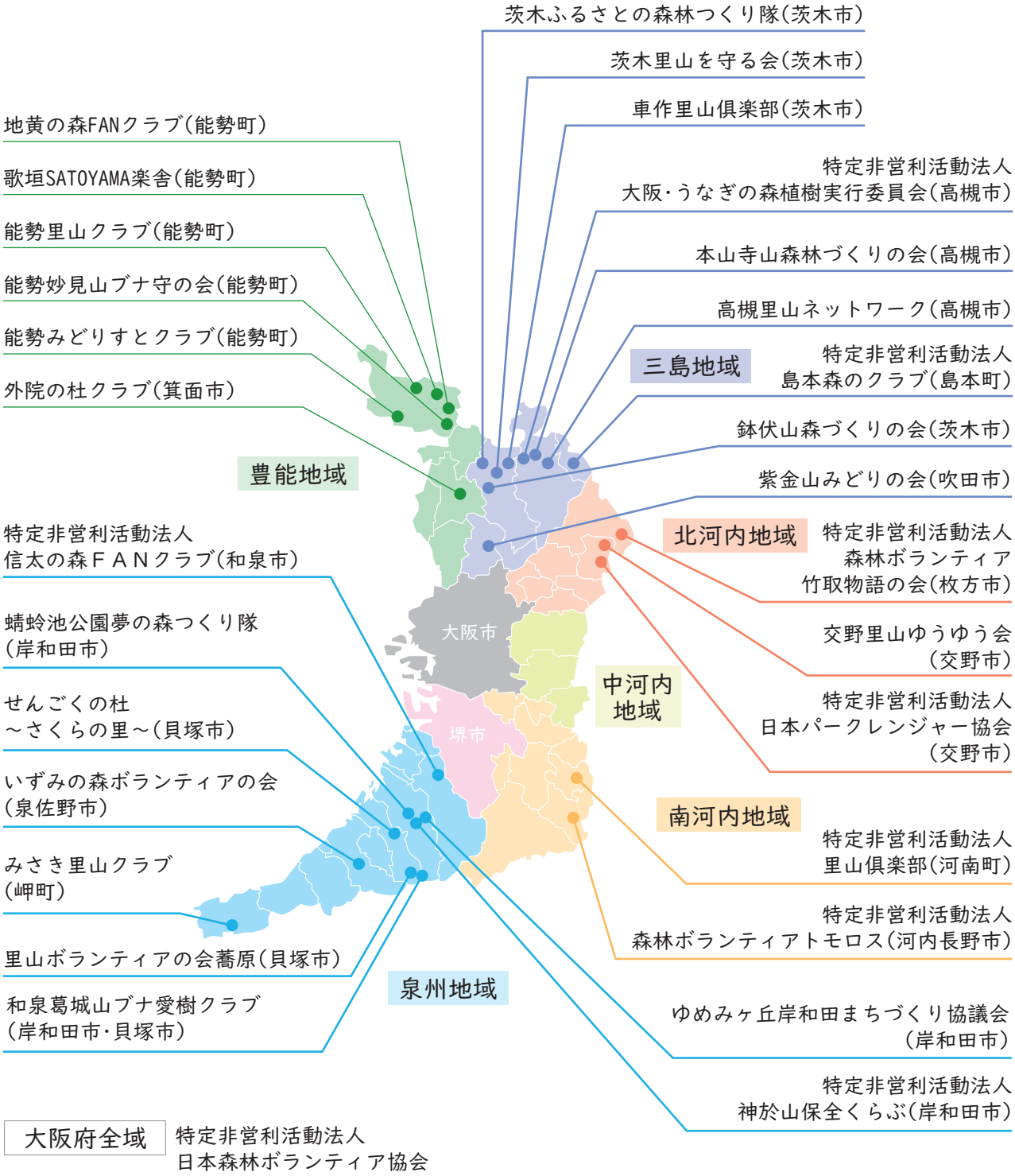
府内自然環境保全活動支援事業（大阪里山ネットワーク）

大阪府内で活動中の里山保全団体を支援するため、大阪里山ネットワークを運営しています。登録団体への支援として、①情報サイト（広報・PRの場を提供）の運営、②少額助成（普及啓発イベント開催や災害復旧等を対象）を行っています。現在、30団体が登録しています（2023（令和5）年6月末時点）。

2022（令和4）年度は、2団体に対して助成を行いました。

助成制度を活用した木柵補修（信太の森FANクラブ）

【ネットワーク登録団体】



大阪さともり地域協議会の運営

大阪さともり地域協議会は、2013(平成25)年度からスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の実施にあたって、大阪府域を対象として設置された地域協議会です。当協会はその事務局として、活動組織への交付金の交付、活動に対する支援や指導等を行っています。

2022(令和4)年度は、セミナー開催やアドバイザー派遣などに加え、チェーンソー安全講習会や活動地見学ツアーを開催するなど、持続可能な活動推進に資する取り組みの充実を図りました。

2023(令和5)年度も引き続き事務局として適正で円滑な事業の推進に努めます。

【2022(令和4)年度の主な事業実績】

- 交付金申請採択団体
  活動組織30組織
  交付金 38,449千円
- 大阪さともり地域協議会
  総会(4/22 web開催)
  審査会3回(4/22 web開催、10/14 ・ 1/13 書面開催)
- 活動組織へのアドバイザー派遣(4活動組織、5回)
- 安全講習会
  チェーンソー安全講習会(6/16 茨木市銭原地区、
  6/24 大阪府立少年自然の家)
  救命救急法(1/15 茨木市里山センター)
- セミナー・交流会
  活動地見学ツアー(12/1 箕面・能勢方面)
  里山保全セミナー(12/15 マイドームおおさか)

里山保全セミナーの案内

チェーンソー安全講習会

活動地見学ツアー

里山保全セミナー

御堂筋アメニティ事業

御堂筋の緑地帯(淀屋橋～難波:約2.7キロメートル)にあるフラワーベース48基に、花卉類を植え付けて花と緑による装飾を施し、都市の緑化の推進とアメニティの向上に寄与してきました。2022(令和4)年度は、2回植付けを行いました。また、大阪市が実施する御堂筋将来ビジョンに基づく側道の歩行者空間化等に協力し、フラワーベース11基の移設を行いました。

なお、当事業は2022(令和4)年度末をもって御堂筋エリアでまちづくり事業を展開している一般社団法人テラプロジェクトに事業承継しました。

6月の植付け

CSR等支援事業

社員参加型の森づくりなど、自然環境保全活動に関心のある企業に対して、大阪府や里山保全団体等と連携し、活動計画の提案や活動時の安全管理・指導などの支援を行っています。

自社フィールドでの活動や、当協会主催または関係団体の保全活動に団体で参加いただくなど、各企業のニーズに応じたコーディネートを行っています。

(1)新規活動の立上げ支援

複数の企業より、相談や問合せがありました。それらに対してニーズの聞きとり、活動方針の提案、活動候補地への案内などを行いました。本格的な活動開始に向けて引き続き支援を続けます。

企業名	活動地	タイプ	2022年度の活動内容
大東建託株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)	協会主催活動地	いきもの観察及び保全体験の計画
東洋カーマックス株式会社	地黄湿地 (能勢町)	協会主催活動地	湿地保全活動

(2)既存活動支援

企業名	活動地	タイプ	2022年度の活動内容
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)他	協会主催活動地 関係団体活動地	ボランティア休暇を利用した 里山保全活動
株式会社NTTドコモ関西支社	ドコモ泉南堀河の森 (泉南市)	自社フィールド	里山保全活動
エネクスフリート株式会社	三草山ゼフィルスの森 (能勢町)	協会主催活動地	里山保全活動、案内看板の更新 ハイキングなどの実施
株式会社タカミヤ	枚方市東部清掃工場 (枚方市)	大阪府アドプトフォレスト制度の活用	コロナ禍のため実施なし
株式会社立花エレテック	枚方市東部清掃工場 (枚方市)		新入社員研修による竹林整備

大東建託:活動地見学

東洋カーマックス:湿地保全活動

エイチ・ツー・オー リテイリング:草刈り・落ち葉拾い

NTTドコモ関西支社:道普請

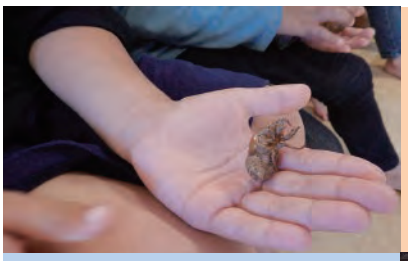
エネクスフリート:看板設置

立花エレテック:新入社員研修による竹林整備

緑の募金事業

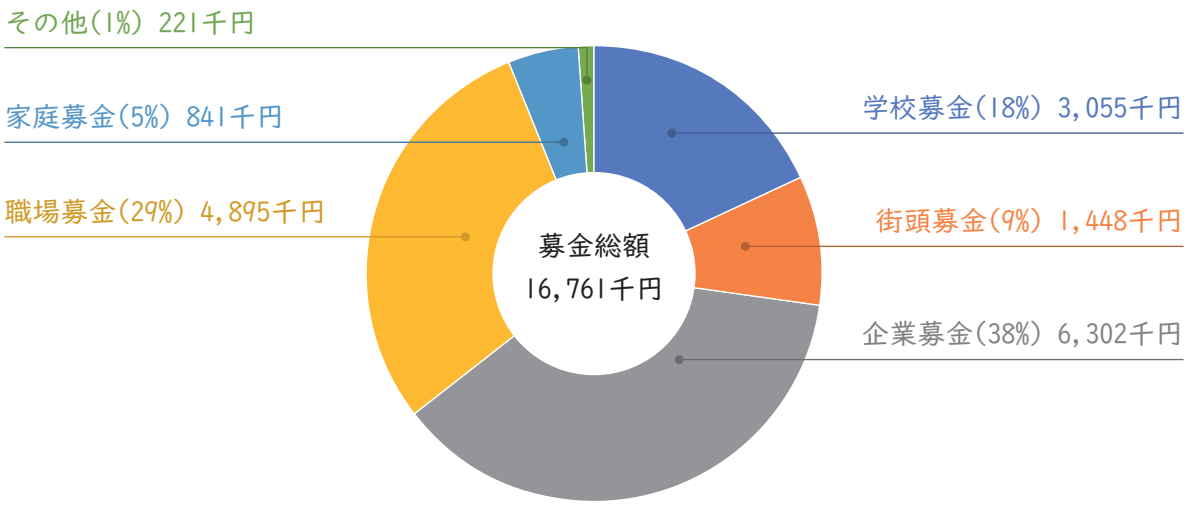
「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき寄付金の募集を行うもので、大阪府では、当協会がその業務を行う団体として指定されています。

府民・企業・団体などの皆様にご協力いただいた「緑の募金」を活用し、市街地や学校の緑化、また教育現場への助成事業として、みどりづくりの輪活動支援事業や「学校に森林と木の香りを」整備事業などを実施しています。



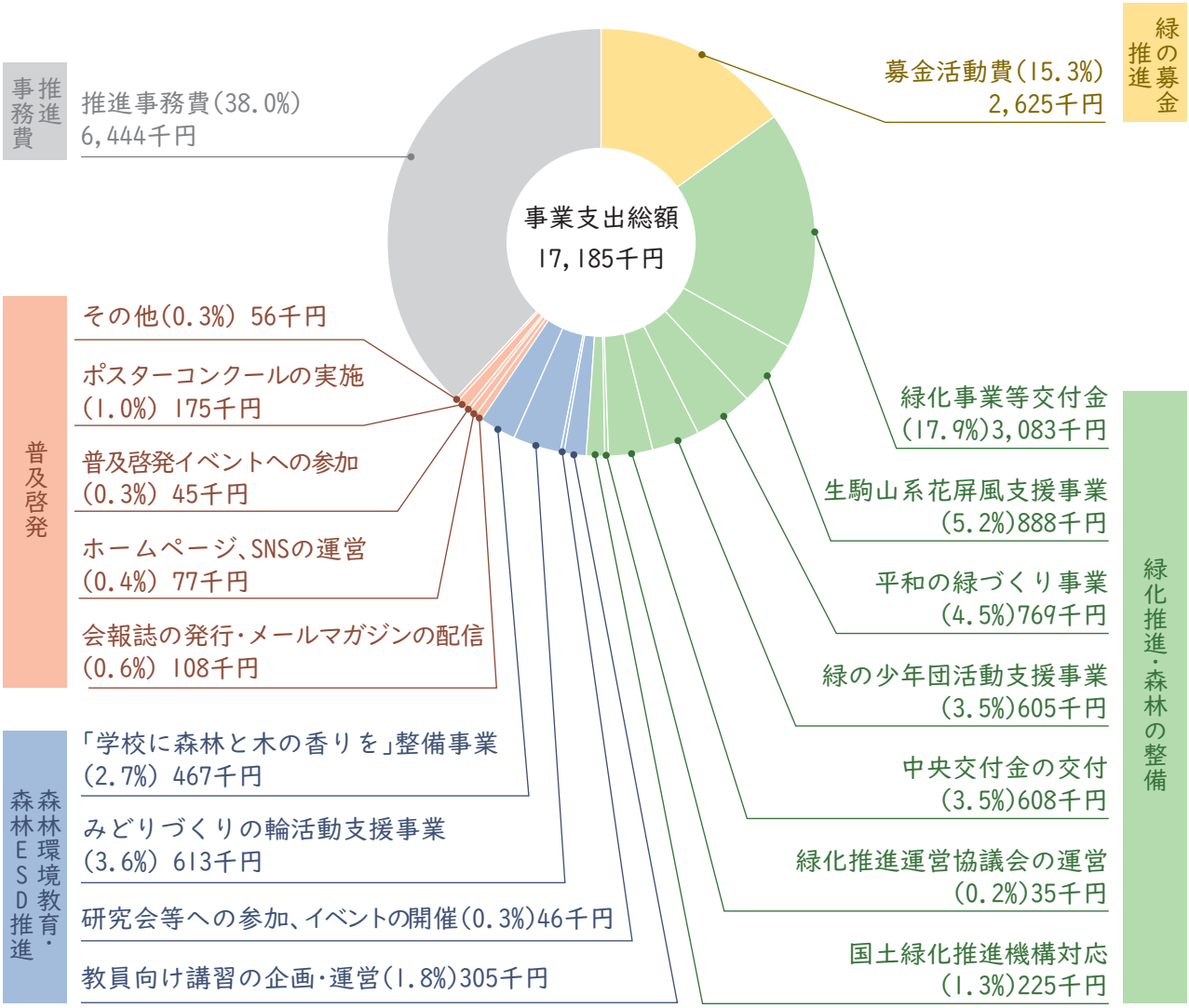
緑の募金 収入について

2022(令和4)年度の募金総額は16,761千円となり、コロナ禍前の2019年度と比べると82%にとどまりますが、前年度と比べると110%と回復傾向を示しました。



緑の募金 支出について

2022(令和4)年度の事業支出総額は17,185千円となりました。



緑の募金運動推進事業

（１）普及啓発資材の整備

・ 緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、募金資材を整備しました。（緑の羽根、緑化バッジ、ＰＲチラシ、ポスター、募金箱）

・ 緑化バッジは、大阪府立港南造形高等学校の協力を得てデザインされ、選考会を経て、最優秀賞の作品が採用されました。また製作数については、過去2年間コロナ禍で削減しましたが、引き続き過去のバッジを有効活用することを前提にしつつ、街頭募金等の再開を見込んで、昨年度よりやや数を増やして製作しました。

2022（令和4）秋バッジ
（キキョウ）
大阪府立港南造形高等学校
安井　千雅さんのデザイン

2023（令和5）春バッジ
（スイセン）
大阪府立港南造形高等学校
小田原　侑花さんのデザイン

（２）募金活動の推進

・ 日常的な募金活動に加え、募金キャンペーン期間を設け、大阪府庁舎などに募金箱を設置するなど、集中的な募金活動を推進しました。

〈キャンペーン期間〉
春季　2022（令和4）年3月1日～5月31日　・　秋季　2022（令和4）年9月1日～10月31日

・ コロナ禍で3年ぶりに開催された「水都おおさか森林（もり）の市」（10/23　毛馬桜之宮公園・近畿中国森林管理局）や「大阪自然史フェスティバル」（11/19・20　大阪市立自然史博物館）などのイベントに出展し、募金の協力を呼びかけました。

・ 音楽集団ANKAAが主催する「Green Heartsチャリティーコンサート」（11/19　豊中市アクアホール）で募金の協力を呼びかけました。

大阪府庁に設置した募金箱

水都おおさか森林の市出展

Green Heartsチャリティーコンサート：出演者も緑の羽根を着用

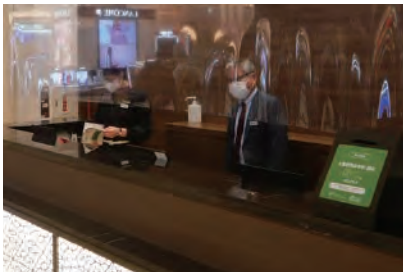
（３）募金協力者の拡大

・ 大丸心斎橋店（大阪市中央区）の環境関連取組の一環として、緑の募金チャリティー企画が9月28日～10月18日に開催されました。

・ 募金方法の多様化を進めるため、2020年より開始した遺贈募金（JELF「みどりの遺言」プロジェクト）を継続しています。

・ 企業の社会貢献活動へのニーズに対応するため、企業担当者へのヒアリングを実施しました。

・ キャッシュレス募金については、（公社）国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともに活用に向け取り組みを行っていましたが、実用化に課題があり、実現に至っていません。



期間中、大丸心斎橋店に設置された募金箱

緑化推進・森林の整備事業

(1)緑化推進事業等交付金

募金活動に協力した団体、学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、募金額の40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化推進事業等交付金を交付しています。

2022(令和4)年度は、304団体に対し、3,059,976円を交付しました。

〈交付金を活用した緑化活動〉

柏原市立堅上小学校

八尾市立上之島小学校

阪南市立はあとり幼稚園

認定こども園みどり丘幼稚園

関西大学幼稚園はぐくみの会

ボーイスカウト高槻第５団

(2)堺第７－３区「共生の森づくり」の推進

堺第7－3区は、府内の産業廃棄物を受け入れ埋立てしてきた大阪府堺臨海部の産業廃棄物埋立処分場です。全体約280ヘクタールのうち、市民・NPO等の参加のもと森として整備することが位置づけられた100ヘクタールの区域を「共生の森」として、植栽及び草刈りイベントの開催等により森づくりを推進しています。コロナ禍のため、過去2年のイベントが中止となり、2022(令和4)年度は、規模を縮小して開催されましたが、企業からの寄付申し込みがなく、助成は実施しませんでした。

(3)生駒山系花屏風支援事業

大阪商工信用金庫エコ定期「まねきeco」や「商工さくら基金」からの「緑の募金」を活用し、大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立て、府民の協働により、ヤマザクラなどの花木や紅葉の美しい樹木の植樹を進めています。

2022(令和4)年度は、生駒山系で里山保全活動などを行う5団体に対し878,717円の助成を行い190本の植樹が行われました。

また、生駒山系森づくりサポート協議会主催の一般参加による花屏風ハイキング(11/12、生駒・四條畷)が開催され、ハイキングとともにごみ拾いや植樹が行われ、緑の募金の呼びかけも行いました。

団体名	活動場所	植栽樹種・本数
大東北条里山クラブ	大東市北条	イロハモミジ10本、イチョウ2本
枚岡ネイチャークラブ	東大阪市東豊浦	ヤマザクラ10本
なわて山守り隊	四條畷市南野、逢坂	イロハモミジ50本、ヤマザクラ3本、ホンアジサイ70本
交野里山ゆうゆう会	交野市倉治	イロハモミジ10本
森区山地保全会	交野市大字森	ヨシノザクラ20本、シダレザクラ5本、ノムラモミジ10本

花屏風ハイキング植樹

花屏風ハイキング植樹式

花屏風ハイキングでの募金・PR

（4）学校等への助成事業

※詳細は、P.26～29に掲載。

（5）平和の緑づくり事業

大阪府内の株式会社平和堂店舗における有料レジ袋の収益金の一部を「緑の募金」としてご寄付いただき、幼稚園、保育園などで身近な緑づくり（植樹）と環境教育（緑の教室）を開催しています。
2022（令和4）年度は、5園で実施しました。

実施園名	所在地	植樹・本数
こだまこども園	泉佐野市	ケヤキ1本、オリーブ1本
むつみこども園	大阪市	ジンチョウゲ3本、クルメツツジ3本、ハクチョウゲ3本、クチナシ1本、ヤブラン3本、ヒラドツツジ2本
しまもと里山認定こども園	島本町	クヌギ1本
ひかりの子幼稚園	交野市	クヌギ1本
認定こども園こもれびのもり	豊中市	クヌギ1本

〈植樹〉

〈緑の教室〉

（6）緑の少年団活動支援事業

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟に加盟する団に助成を行っています。2022（令和4）年度は、4団に助成を行いました。

滋賀県で開催された全国植樹祭（6/5）に、大阪府緑の少年団連盟を代表して羽曳野市緑の少年団団員1名が参加し、会場で植樹を行いました。

また、緑の少年団の団員募集リーフレットを作成し、各団に配布しました。

全国植樹祭

リーフレット

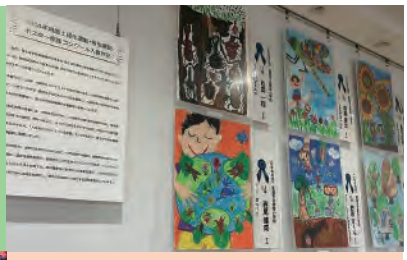
（7）緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため、有識者からなる緑化推進運営協議会を開催しています。2022（令和4）年度の開催状況は以下の通りです。

5月27日（金）	第60回 緑化推進運営協議会	議案 ・2021（令和3）年度事業報告について ・2021（令和3）年度決算報告について
2月28日（火）	第61回 緑化推進運営協議会	報告案件 ・2022（令和4）年度事業概要について ・2022（令和4）年度「緑の募金」収支決算見込みについて 議案 ・2023（令和5）年度「緑の募金」事業計画案について ・2023（令和5）年度「緑の募金」収支予算案について

【2023（令和5）年度の主な事業】

- 緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、募金資材を整備し、活用します。
- SDGｓ達成への貢献を目指し、緑の未来を担う子どもたちへの助成など緑化推進・森林の整備事業を進めます。
- 府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベントなどで緑の募金活動・PRを行います。



森林環境教育・森林ＥＳＤ
普及啓発　その他

森林ESDを「持続可能な社会づくりの担い手を育むことを目的に、森林・里山や校庭・公園などの身近な自然環境を活用して行う学習や活動」と定義付けし、より多くの小学校・保育の現場で質の高い森林ESDが実践される環境の整備に向けて、関心を持つ諸団体と連携し、様々な取り組みを進めています。

普及啓発については、メールマガジン、ホームページ、SNS、動画配信等、多様な媒体による重層的な情報発信を行い、より多くの皆さまに当協会が行う事業について知っていただく機会を設けていきます。

森林環境教育・森林ESDの推進事業

森林環境教育・森林ESDの推進事業は、学校等への助成事業に加え、教育関係者と林業・自然環境保全関係者のネットワークづくりなど、環境整備に主眼をおいた取組みを進めました。

(1)教員向け講習の企画・運営

2019(令和元)年度より検討・準備を進めてきた教員向け講習の全体カリキュラム、講習内容、教材等を活用し、8月に東部社会科研究会(河南町・太子町・千早赤阪村の公立小学校教員の研究会)のメンバーを対象に「どこでもできる森林ESD」研修を実施しました。

また、大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、1回生の「図画工作」の授業の時間を活用し、森林ESD体験講座を実施しました。

東部社会科研究会研修:間伐体験

大阪教育大学講座:キャンパス内の植物観察

大阪教育大学講座:落ち葉で作ったステンドリーフ

(2)パネル展示の開催

近畿中国森林管理局「森林(もり)のギャラリー」(大阪市北区)にて、7月13日(水)～8月4日(木)の期間中、2021年度に実施した助成事業について、「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援～」と題し、パネル展示を行いました。

パネル展示

(3)学校等への助成事業

①みどりづくりの輪活動支援事業

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープ整備等への助成を行っています。

2022(令和4)年度は、4校へ助成しました。

〈貝塚市立津田小学校〉

これまで冬期になると水が枯れてしまっていた自然池を、児童たちが地域の方々と一緒にビオトープとして整備しました。

9～11月にかけて外来種駆除や杭抜き等の作業を進め、1月には外部講師の指導のもと、3～6年生による整備を実施しました。

もとの自然池の穴を適切な高さにするため、砂を運び入れます。慣れないスコップや一輪車を懸命に使って作業しました。

防水シートを張った上に、砂を敷き、石等で生き物の住処を作りました。後日、周辺を整備し、水生植物を植えて水を張りました。

〈大阪府立長野高等学校〉

里山活動の授業を選択した生徒と教員、地元森林ボランティアで学校敷地内の里山林・竹林の整備、里山活用に取り組みました。

地元の森林ボランティアメンバーの指導のもと、里山林の樹木伐採、竹やぶ整備を行いました。

林内作業では、斜面での作業姿勢や鋸の使い方、間伐した材を運び出す際のロープのかけ方等を学びました。

伐採した木を活用して、ほだ木づくりや炭づくり、栗拾いやつるし柿等の里山活用にも取り組みました。

〈枚方市立樟葉小学校〉

6年生を中心に、使用されなくなっていたビオトープ池「樟葉の森 観察池」の再整備に取り組みました。

まずは6年生全員で池の清掃をしました。水と泥をかき出し、池に生息していたメダカやヤゴ等の生き物を泥の中から救出しました。

外部講師の指導のもと、池の整備に取り組みました。みんなで協力して、砂、布、防水シート、また砂と順に運び入れていきました。

土嚢や石を入れ、ミゾソバやヒメガマ、ハンゲショウ等の植物を植えて、ビオトープの大枠を完成させました。後日、水を張り、一時避難していたメダカやヤゴ等を戻してあげました。

〈河内長野市立石仏小学校〉

学校に隣接する里山林にて遊歩道整備やフクロウ・ムササビの巣箱設置を行いました。また、森林体験活動や木工工作、里山散策を実施しました。

5年生は、地元森林ボランティアの指導のもと、森林環境についての出前授業や間伐体験を実施しました。

間伐体験では、間伐のためのロープ掛け、鋸の入れ方、倒木の枝払い等各工程を、各班で協力して取り組みました。

間伐で伐採した木を活用して、1年生、5年生で木工工作をしました。

②「学校に森林と木の香りを」整備事業

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対する助成を行っています。

2022(令和4)年度は、3校へ助成しました。

〈泉南市立鳴滝小学校〉

5年生の総合学習のテーマ「環境」の一環で、体験出前型の森林ESDを実施しました。

身近な暮らしの中の木を探し、森林の役割や森林保全の大切さ、木材の流通について学びました。

木工体験では一人一つ椅子を製作しました。木の手触りや香り、木の削られる音等、五感で木を感じながらの作業でした。

4月からの調べ学習や出前授業、木工体験の内容を資料にまとめて、保護者の前で発表しました。

〈千早赤阪村立千早小吹台小学校〉

5年生の総合学習の一環として森林体験を実施したのち、「世界を守ってくれるような木をつなごう」をテーマに児童たちが考えた４つのプロジェクトに取り組みました。

大阪府森林組合の協力を得て、千早赤阪村内で丸太切り体験・競り市の見学を行い、河内長野市内で製材所の見学を行いました。

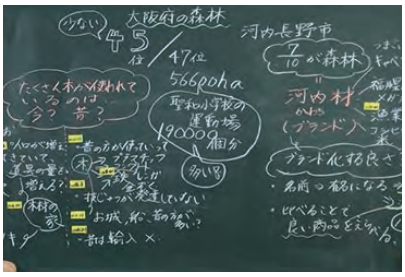
木が伐られてから手元に届くまでを実際の各現場を見て学習することができました。

森林体験の学習をもとにプロジェクトを立ち上げ、木工体験や啓発ポスターの掲示、緑の募金などに取り組みました。

〈大阪市立聖和小学校〉

5年生を対象として、林業をテーマに木工体験と出前授業を実施しました。

まずは木工体験を実施し、児童一人一人が木に触れて親しみ、その木がどこから来たのかを考えました。



木工体験や事前学習を発展させ、森林資源は多くあるのに使われていない現状や、林業が自分にも関わっていることを学びました。

大阪府森林組合の方を講師に、オンライン出前授業を実施し、児童たちが学ぶ中で出てきたさまざまな疑問に答えていただきました。

③専門家相談費用助成制度

①②の助成事業に関連して、学校が森林ESD等の検討段階における計画立案や活動組立てに際し、専門家による助言を得られるよう、費用助成等の支援を行いました。

2022(令和4)年度は、5件の専門家相談に助成しました。助成した専門家相談のうち4件については、当協会助成事業を活用して実施されました。

【2023(令和5)年度の主な事業】

- 大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、森林ESDを体験する教育大学学生向け講習を実施します。
- 森林環境教育・森林ESD・里山保全活動の普及啓発を目的としたパネル展、及びみどりづくりの輪活動支援事業・「学校に森林と木の香りを」整備事業等の学校等を対象とした助成事業を継続します。

令和5年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールを実施しました。大阪府内の小学校・中学校・高等学校より21校／89点の応募（参加総数215点。各学校10作品まで応募可）がありました。10月に審査会を開催し、優秀作品14点を選び、公益社団法人国土緑化推進機構中央審査会に応募しました。その結果3名が入賞しました。

※学年は作品応募当時です。

【特選 文部科学大臣賞】

高等学校の部

自然を守る
大阪府立堺西高等学校 1年 玉置 花怜 さん

【入選 国土緑化推進機構理事長賞】

小学校の部

みんなのために
箕面市立西南小学校 4年 野村 光那 さん

中学校の部

大樹と赤ちゃん
大阪市立東中学校 3年 塩尻 聡子 さん

【大阪みどりのトラスト協会賞】

小学校の部

すくすくそだつもりのマンション
箕面市立西南小学校
1年 物種 凜子 さん

みどりがいっぱいみんなであそぼう
箕面市立西南小学校
1年 有吉 慶一 さん

虫がくらせる森
箕面市立西南小学校
3年 田中 千晴 さん

ささえる木！
河内長野市立小山田小学校
5年 河盛 歩希 さん

小学校の部

かれてもきれいな庭のアジサイ
箕面市立箕面小学校
6年 永井 花 さん

中学校の部

命を支える
河内長野市立長野中学校
1年 森 悠仁 さん

ボルネオ島の豊かな緑
大阪市立友渕中学校
1年 宗田 莉奈 さん

樹
茨木市立平田中学校
3年 櫟田 彩乃 さん

高等学校の部

手のひらの自然たち
大阪市立工芸高等学校
1年　村上 杏奈 さん

新たな緑
大阪市立工芸高等学校
2年　横野 鈴菜 さん

木に驚く
大阪市立工芸高等学校
2年　大垣 光十 さん

普及啓発事業

ホームページ・SNSを活用し、メールマガジン配信と連動したタイムリーな情報発信を行いました。

イベントへの出展では、不特定多数の来場者への認知度向上につながるよう協会の事業を紹介するパネル展示を行いました。

(1)会報誌の発行・メールマガジンの発行

会報誌「ANNUALREPORT2021(みどりのトラスト)」を発行しました(7月)。メールマガジンは、月に1回、約500の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促しました。

(2)ホームページの運営・SNSの活用

ホームページは、自然環境保全事業では、イベント告知とスタッフブログを中心に、活動地の最新情報をお知らせしました。緑の募金事業では、皆さまからいただいた募金がどのように活用されているかを活用事例ページで紹介しました。Facebook・Instagram・YouTubeを活用し、それぞれの特徴に応じ配信しました。

(3)普及啓発イベントへの参加

大阪府立中央図書館共催イベントとして4/19(火)～5/15(日)の期間中「令和4年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」入選作品展示 と「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介～」パネル展示で緑の募金の活用方法等を紹介し、募金箱を設置しました。

コロナ禍を経て3年ぶりに開催された「水都おおさか森林(もり)の市(10/23・毛馬桜ノ宮公園・近畿中国森林管理局)」や「大阪自然史フェスティバル(11/19・20大阪市立自然史博物館)」にて募金活動・パネル展示等のPRを行いました。

大阪府立中央図書館展示

大阪自然史フェスティバル出展

【2023(令和5)年度の主な事業】

- 各事業のアーカイブ資料等を掲載し、ホームページの内容充実を図ります。
- SNSを活用し、情報発信の頻度を高めます。
- 普及啓発イベントにおいて、募金活動・パネル展示等のPR活動を行います。

会議開催状況

2022(令和4)年度の理事会、評議員会の開催状況は以下のとおりです。

(1)理事会

6月6日(月) WEB会議	第26回 理事会	第1号議案　「2021(令和3)年度事業報告について」 第2号議案　「2021(令和3)年度決算について」 第3号議案　「第12回定時評議員会招集について 理事・監事の改選に伴う候補者の推薦について」
6月7日(火)	決議の省略	第1号議案　「評議員候補者1名の評議員会への推薦の件」 第2号議案　「評議員会の決議の省略による方法により、評議員1名の選任を求める件」
7月6日(水)	決議の省略	第1号議案　「理事の改選に伴う代表理事(会長)選定の件」 第2号議案　「理事の改選に伴う常務理事選定の件」
12月23日(金) WEB会議	第27回 理事会	第1号議案　「御堂筋アメニティ事業の(一社)テラプロジェクトへの譲渡について」 第2号議案　「特定費用準備資金の変更について」 第3号議案　「嘱託職員への臨時賞与の支給について」 第4号議案　「中期経営計画(令和5～7年度)素案に関する意見交換」
3月2日(木) WEB会議	第28回 理事会	第1号議案　「中期経営計画(令和5～7年度)について」 第2号議案　「2023(令和5)年度事業計画について」 第3号議案　「2023(令和5)年度収支予算について 資金調達及び設備投資の見込みについて」 第4号議案　「常勤役員の報酬額の決定について」 第5号議案　「嘱託職員への臨時賞与の支給について」

(2)評議員会

6月14日(火)	決議の省略	第1号議案　「評議員1名の選任の件」
6月22日(水) WEB会議	第12回 評議員会	報告事項　「2021(令和3)年度事業報告について」 第1号議案　「2021(令和3)年度決算について」 第2号議案　「理事の改選について」 第3号議案　「監事の改選について」

内部管理体制の整備状況

2022(令和4)年度において下記の規程を制定しました。

3月2日(木)	賞与支給規則の制定

貸　借　対　照　表

（2023年3月31日現在）

科　　目	当年度	前年度	増　　減
Ⅰ　資産の部	円	円	
1　流動資産			
現金預金	6,640,104	14,240,364	△ 7,600,260
未収金	3,780,341	1,740,790	2,039,551
立替金	3,638,837	14,107	3,624,730
前払金	381,368	342,005	39,363
流動資産合計	14,440,650	16,337,266	△ 1,896,616
2　固定資産			
（1）基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	10,000	10,000	0
投資有価証券	244,958,000	252,758,000	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
（2）特定資産			
トラストファンド			
普通預金	869,567	678,086	191,481
投資有価証券	22,762,520	23,452,220	△ 689,700
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
特定費用準備資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	2,762,617	4,282,958	△ 1,520,341
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	3,759,381	3,844,381	△ 85,000
特定費用準備資金合計	6,521,998	8,127,339	△ 1,605,341
特定資産合計	30,154,085	32,257,645	△ 2,103,560
（3）その他固定資産			
備品	218,096	360,003	△ 141,907
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,249,927	1,391,834	△ 141,907
固定資産合計	279,682,430	289,727,897	△ 10,045,467
資産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	7,299,900	7,305,802	△ 5,902
前受金	599,000	387,000	212,000
預り金	39,822	984,052	△ 944,230
預り補助金	0	4,064,600	△ 4,064,600
流動負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	21,936,800	29,736,800	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
ブナの森トラストファンド	15,104,716	15,450,644	△ 345,928
ゼフィルスの森トラストファンド	8,527,371	8,679,662	△ 152,291
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
指定正味財産合計	271,910,505	280,208,724	△ 8,298,219
（うち基本財産への充当額）	(248,278,418)	(256,078,418)	△ 7,800,000
（うちトラストファンドへの充当額）	(23,632,087)	(24,130,306)	△ 498,219
（うち特定費用準備資金への充当額）	(0)	(0)	0
2　一般正味財産	14,273,853	13,114,985	1,158,868
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	0
（うちトラストファンドへの充当額）	(0)	(0)	0
（うち特定費用準備資金への充当額）	(6,521,998)	(8,127,339)	△ 1,605,341
正味財産合計	286,184,358	293,323,709	△ 7,139,351
負債及び正味財産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083

正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日から2023年3月31日まで

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				法人会計	合　計
	公　1 自然環境保全事業	公　2 緑の募金事業	共　通	小　計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
（1）経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取会費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
会員受取会費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
受取補助金等	24,804,291	0	0	24,804,291	0	24,804,291
受取国庫補助金	7,584,491	0	0	7,584,491	0	7,584,491
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	4,200,000	0	0	4,200,000	0	4,200,000
受取受託金	1,900,800	0	0	1,900,800	0	1,900,800
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取寄付金	1,899,709	16,761,050	0	18,660,759	0	18,660,759
受取寄付金	1,899,709	0	0	1,899,709	0	1,899,709
募金収益	0	16,761,050	0	16,761,050	0	16,761,050
雑収益	237,728	48,062	0	285,790	115	285,905
受取利息	0	11	0	11	115	126
雑収益	237,728	48,051	0	285,779	0	285,779
経常収益計	29,963,978	16,809,112	0	46,773,090	3,500,179	50,273,269
（2）経常費用						
事業費	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987		45,846,987
役員報酬	806,400	691,200	0	1,497,600		1,497,600
給料手当	10,009,209	3,981,701	0	13,990,910		13,990,910
福利厚生費	1,415,243	718,928	0	2,134,171		2,134,171
旅費交通費	1,493,606	194,169	0	1,687,775		1,687,775
通信運搬費	434,108	563,309	0	997,417		997,417
減価償却費	121,352	0	0	121,352		121,352
消耗品費	1,241,863	2,303,896	0	3,545,759		3,545,759
印刷製本費	81,660	164,180	0	245,840		245,840
燃料費	156,784	23,641	0	180,425		180,425
賃借料	3,353,988	849,576	0	4,203,564		4,203,564
保険料	588,408	8,287	0	596,695		596,695
使用料	395,936	65,434	0	461,370		461,370
委託費	5,628,346	795,428	0	6,423,774		6,423,774
募金事務費	0	156,679	0	156,679		156,679
諸謝金	1,120,911	175,000	0	1,295,911		1,295,911
支払負担金	1,350,185	180,071	0	1,530,256		1,530,256
支払助成金	203,000	2,502,193	0	2,705,193		2,705,193
支払手数料	229,656	142,931	0	372,587		372,587
緑化事業等交付金	0	3,667,883	0	3,667,883		3,667,883
光熱水費	7,026	0	0	7,026		7,026
租税公課	24,000	800	0	24,800		24,800

（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				法人会計	合　計
	公　1 自然環境保全事業	公　2 緑の募金事業	共　通	小　計		
管理費					3,803,011	3,803,011
役員報酬					560,800	560,800
給料手当					289,975	289,975
福利厚生費					143,196	143,196
旅費交通費					25,430	25,430
通信運搬費					70,251	70,251
減価償却費					30,833	30,833
消耗品費					842,127	842,127
印刷製本費					12,760	12,760
賃借料					155,679	155,679
保険料					44,000	44,000
使用料					293,766	293,766
委託費					1,108,800	1,108,800
支払負担金					82,306	82,306
支払手数料					143,088	143,088
経常費用計	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987	3,267,414	49,114,401
評価損益等調整前当期経常増減額	1,302,297	▲376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,302,297	▲376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
2.経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
一般正味財産期首残高	16,756,665	▲2,921,857	0	13,834,808	▲719,823	13,114,985
一般正味財産期末残高	18,058,962	▲3,298,051	0	14,760,911	▲487,058	14,273,853
Ⅱ　指定正味財産増減の部						
受取寄付金	191,481	0	0	191,481	0	191,481
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲7,800,000	▲7,800,000
特定資産評価損益	▲689,700	0	0	▲689,700	0	▲689,700
当期指定正味財産増減額	▲498,219	0	0	▲498,219	▲7,800,000	▲8,298,219
指定正味財産期首残高	24,130,306	0	0	24,130,306	256,078,418	280,208,724
指定正味財産期末残高	23,632,087	0	0	23,632,087	248,278,418	271,910,505
Ⅲ　正味財産期末残高	41,691,049	▲3,298,051	0	38,392,998	247,791,360	286,184,358

公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

〈役員一覧〉 2023年6月末現在

会　長	石井　実	大阪府立大学名誉教授 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長
理　事	小原　貴浩	大阪ガス株式会社 総務部管理チーム マネジャー
理　事	中村　夏美	大阪府生活協同組合連合会専務理事
理　事	藤原　宣夫	大阪公立大学大学院農学研究科 緑地環境科学専攻　教授
理　事	前迫　ゆり	奈良佐保短期大学 教授・副学長
常務理事	長井　聖治	公益財団法人大阪みどりのトラスト協会 常務理事
監　事	鎌田　邦彦	弁護士法人第一法律事務所 弁護士・弁理士
監　事	松本　勝幸	松本公認会計士事務所 公認会計士・税理士

〈評議員一覧〉 2023年6月末現在

評議員	上田　大輔	大阪市建設局 公園緑化部長
評議員	栗本　修滋	大阪府森林組合 代表理事組合長
評議員	阪　智香	関西学院大学商学部教授
評議員	田中　武次	大阪府環境農林水産部 みどり推進室 室長
評議員	山本　勝利	大阪商工信用金庫 CSR推進室 室長

法人名称　公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

所在地　〒559-0034
大阪市住之江区南港北2丁目1番10号 ATCビルITM棟11F西
TEL:06-6614-6688 / FAX:06-6614-6689

事業内容
1. 貴重な自然環境の保全及び生物多様性、里山の保全
2. 自然環境の保全、緑化に関する普及啓発及び調査研究
3. 緑の募金運動の推進
4. 森林環境教育・森林ESDの推進
5. 緑化事業、森林整備等への助成
6. ボランティアの育成、活動支援
7. CSR活動のサポート

設　立　1989(平成元)年11月1日
公益財団法人移行年月日:2012(平成24)年4月1日

ANNUAL REPORT 2022
(みどりのトラスト 106号)
2022年度(2022.4-2023.3)事業報告

■ 表紙の絵

「自然を守る」

令和5年用
国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール
大阪みどりのトラスト協会賞
大阪府立堺西高等学校 1年(応募当時)
玉置 花怜 さん

■ 発行:2023(令和5)年7月

みどりの未来をわたしたちの手で

https://www.ogtrust.jp